

# 災害の概況

(2019年上半期)



鳥取県西部広域行政管理組合  
消防局

# 目 次

(ページ数)

災害概況のまとめ	1
<b>I 火災概況</b>	
1 火災件数について	3
図 I - 1 火災件数の推移	3
2 火災種別件数について	3
図 I - 2 火災種別ごと件数の状況	3
3 月別火災件数について	4
図 I - 3 月別の火災件数	4
4 市町村別火災件数について	4
図 I - 4 市町村別火災件数の状況	4
5 損害額について	5
6 火災の原因について	5
図 I - 5 出火原因別グラフ	5
7 死者・負傷者について	5
図 I - 6 市町村別死傷者状況	5
別表 I - 1 月別火災発生状況	6
<b>II 救急概況</b>	
1 救急出動状況、救急搬送状況	7
図 II - 1 事故種別救急出動状況	7
図 II - 2 事故種別救急搬送状況	7
図 II - 3 過去5年間の救急推移	8
2 市町村別救急活動状況	8
図 II - 4 市町村別救急活動状況	8
3 傷病程度別搬送状況	9
図 II - 5 傷病程度別搬送状況	9
4 年齢別搬送状況	9
図 II - 6 年齢別搬送状況	9
5 署所別救急活動状況	10
図 II - 7 署所別救急活動状況	10
6 月別救急活動状況	10
図 II - 8 月別救急活動状況	10
7 現場到着所要時間、収容所要時間	11
図 II - 9 現場到着所要時間	11
図 II - 10 収容所要時間	11
8 応急手当実施状況	12
図 II - 11 応急手当実施状況	12
9 高度救命処置状況	12
図 II - 12 高度救命処置件数	12
10 医師引継ぎ時の状況	13
図 II - 13 医師引き継ぎ時の状況	13

Ⅲ	救助概況	14
1	事故種別救助出動状況	14
	図Ⅲ－1 事故種別救助出動状況	14
2	事故種別救助活動状況	14
	図Ⅲ－2 事故種別救助活動状況	14
3	事故種別救助人員状況	15
	図Ⅲ－3 事故種別救助人員状況	15
4	管轄別救助活動状況	15
	図Ⅲ－4 管轄別救助活動状況	15
5	市町村別救助活動状況	16
	図Ⅲ－5 市町村別救助活動状況	16
6	月別救助活動状況	16
	図Ⅲ－6 月別救助活動状況	16
Ⅳ	119番着信概況	17
1	着信件数の概況	17
	表Ⅳ－1 着信件数内訳	17
2	月別の119番着信状況	18
	表Ⅳ－2 月別119番着信状況	18
3	電話種別による119番着信状況	18
	表Ⅳ－3 電話種別による119番着信件数の推移	18
	表Ⅳ－4 電話種別による通報状況	19
4	携帯電話からの着信状況	19
	表Ⅳ－5 携帯電話からの着信状況	19
	表Ⅳ－6 携帯電話の消防機関別転送状況	20
5	時間帯別119番通報の着信状況	20
	図Ⅳ－1 時間帯別着信状況	20

注:本文中の各割合(%)については、端数処理のため合計が100%にならない場合があります。

# 災害概況のまとめ

## I 火災概況

### (1) 火災概況

本年上半期の火災件数は65件で、前年同期比6件の増加となっています。

火災種別としては「建物火災」が8件減少しており、「その他火災」が10件増加し「車両火災」が2件増加しています。

「建物火災」の減少により「焼損面積」も前年同期の2,617㎡から1,500㎡と約1,100㎡の減少となっています。

焼損面積の減少に伴い「建物火災」の損害額も、59,085(千円)と前年同期の84,273(千円)から約25,000(千円)の減少となっています。

火災原因については、前年同様「たき火」が19件と最も多く、次いで「その他」11件、「放火の疑い」9件の順となっています。

火災による死者は前年と同様に2人の死者が発生し、いずれも高齢者となっています。負傷者は前年同期と比較して1人減少の8人となっています。

### (2) 出火予防対策

高齢化が進み死者・負傷者ともさらに増加していく恐れがあります。

引続き、地域住民の防火意識の高揚を図ると共に、住宅用火災警報器設置促進及び維持管理を含めた広報活動を実施し、住宅防火対策を推進し続けることが重要と考えます。

## II 救急概況

救急出動件数は5,613件で前年上半期に比べ85件の減少、また救急搬送人員は5,211人で117人の減少となっています。

事故種別で見ますと、急病が全体の6割以上を占め、次いで一般負傷、転院搬送、交通事故の順となっています。

年齢別で見ますと、65歳以上の高齢者が搬送される割合が年々増加しています。今後、更に高齢者が占める割合が増加することが予測されます。

心肺停止傷病者に対する応急手当の割合は前年度より2%減少しました。

万一の時、早期の応急手当は必要ですが、一番大切なことは病気予防です。

心肺停止に陥る前に早期の医療機関受診が重要です。

## III 救助概況

救助出動件数は89件で前年上半期に比べ18件減少、救助活動件数は67件で前年に比べ11件減少しています。

救助人員は46人で前年に比べ15人減少し、事故種別で見ますと、交通事故が最も多く23人となっています。

全国的に風水害、地震などの災害規模が大規模・長期化することに伴い、県内の相互応援、緊急消防援助隊の活動、医療、防災機関及び行政などとの迅速な連携活動、連携強化が必要不可欠となっています。

#### IV 119番着信概況

119番の総着信件数は7,462件で昨年同期より249件少なくなっています。事故種別ごとに着信件数を見ますと、火災通報98件で43件減、救急通報5,239件で100件減、救助通報42件で7件減、警戒通報は193件で8件増、問合せ403件で90件減、間違い352件で44件減、悪戯94件で1件増、訓練等1,041件で16件増でした。総着信件数から問合わせ、間違い、悪戯、訓練などを除く災害通報は5,572件で昨年上半期に比べると132件減でした。

電話種別ごとに着信件数を見ますと、固定・IP電話4,297件で380件減、携帯電話3,165件で131件増でした。総着信件数のうち携帯電話による通報が占める割合は約42%ですが、屋外で発生または発見されることの多い災害では、火災が67%、救助が76%、警戒が56%を占めており、統合型位置情報通知システムを活用して、災害場所の早期情報特定を取得するよう努めています。